



二十歳を祝うつどい



誓いのことば（遠藤響さん）



二十歳の証書代表授与（丸山雪乃さん）

「これからは、遠藤響さんが「これからは、社会の一員として自らが考えた選択に責任を持つ立場になります。他者を思いやり、違いを認め、困っている人がいたら優しく手を差し伸べ、自分の行動一つひとつに責任を持つことが大人になる第一歩だと考えます。まだ見ぬ可能性を切り開き、梅・桃・桜三つの花が咲く三春町で、四つ目の私たちが咲く花が咲かせられるよう、夢や目標に向かって精一杯頑張っていきます。」と語りました。

「これまでに培った知識、友情、家族の絆、そして何よりも自分自身を信じる心を大切に、強く歩んでいってほしい」と激励し、代表の丸山雪乃さんに「二十歳の証書」が授与されました。

また「誓いのことば」では、遠藤響さんが「これからは、社会の一員として自らが考えた選択に責任を持つ立場になります。他者を思いやり、違いを認め、困っている人がいたら優しく手を差し伸べ、自分の行動一つひとつに責任を持つことが大人になる第一歩だと考えます。まだ見ぬ可能性を切り開き、梅・桃・桜三つの花が咲く三春町で、四つ目の私たちが咲く花が咲かせられるよう、夢や目標に向かって精一杯頑張っていきます。」と語りました。

1月11日、二十歳を迎える1337名を対象に「令和8年三春町二十歳を祝うつどい」を三春交流館「まほら」にて開催しました。

この日は、華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ111名が出席し、会場は久しぶりに会った旧友との再会を喜ぶ姿や近況を話したり、写真を撮るなど、たくさんの笑顔であふれていました。

式典では、坂本浩之町長が